シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	日本国憲法A		
必修選択	選択	（学則表記）	日本国憲法A		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	保育士・教員のための憲法 学習の手引き		出版社	八千代出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	日本国憲法の拠って立つ理念・基本原理、基本的人権の内容について学ぶ。
到達目標	①憲法の意義や特質や基本原理を理解し説明できる。 ②憲法の保障する基本的人権の内容や制約について理解し説明できる。 ③憲法の定める統治の原理について理解し説明できる。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	なし
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する
担当教員	森　敦嗣
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	個人の尊厳と一般人の権利	日本国憲法の基本原理である個人の尊重と、その人権保障について(第１章)
2	人権の制約	日本国憲法の保障する基本的人権の限界、明文化されていない権利について(第２章)
3	平等権	憲法の保障しようとする平等や禁止する差別を知り、教育現場における課題について（第３章）
4	思想・良心の自由、信教の自由	思想・良心の自由および信教の自由について（第４章）
5	表現の自由	表現の自由が許される範囲と、限界について（第５章）
6	修得確認	第1講～第5講までのまとめ
7	修得確認	第1講～第5講までのまとめ
8	学問の自由、教師の教育の自由	学問の自由の意味と教師の自由の範囲について（第６章）
9	社会権	自由権とは対照的な性質をもつ社会権(生存権・労働基本権)について(第７章)

10	教育を受ける権利	教育を受ける権利の内容と保障のあり方について（第８章）
11	経済的自由権	経済的自由とそれを支える社会権について（第９章）
12	人身の自由	刑事事件で保障される権利について（第１０章）
13	修得確認	第８講～第１２講までの復習
14	期末テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	日本国憲法B		
必修選択	選択	（学則表記）	日本国憲法B		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	保育士・教員のための憲法 学習の手引き		出版社	八千代出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	日本国憲法の拠って立つ理念・基本原理、基本的人権の内容について学ぶ。
到達目標	①憲法の意義や特質や基本原理を理解し説明できる。 ②憲法の保障する基本的人権の内容や制約について理解し説明できる。 ③憲法の定める統治の原理について理解し説明できる。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	なし
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する
担当教員	森　敦嗣
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 国民主権・参政権・請求権	後期の授業の流れや到達目標について 国民主権の原理とそれを実現する参政権（選挙権）、人権が侵害された時の救済について（第11章）
2	権力分立(1)　立法権	立法、行政、司法による抑制と均衡の原理と立法府の仕組み・役割について（第12章）
3	権力分立(2)　行政権・司法権	三権分立のうち行政権と司法権についてそれを担う内閣・裁判所の仕組み、役割について（第13章）
4	地方自治	地方自治の内容と実際の展開、教育における地方自治について（第14章）
5	平和主義	平和主義の内容と自衛隊の派遣に関する解釈について（第15章）
6	修得確認	第11講～第15講までの復習
7	修得確認	第11講～第15講までの復習
8	まとめ①	単元ごとにワークまとめ
9	まとめ②	単元ごとにワークまとめ

10	まとめ③	単元ごとにワークまとめ
11	まとめ④	単元ごとにワークまとめ
12	まとめ⑤	単元ごとにワークまとめ
13	まとめ⑥	単元ごとにワークまとめ
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	単元ごとにワークを行い学びを深める。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	健康指導法A		
必修選択	選択	（学則表記）	健康指導法A		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	新版 保育者をめざす保育内容「健康」 学習の手引き		出版社	圭文社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	幼稚園、保育園、認定こども園で実践する教育、保育の「健康」の位置づけを理解し、子どもの発達に応じた支援、援助、環境設定や安全教育、それらに付随する専門知識や学校教育の流れを学ぶ。
到達目標	幼稚園、保育園、認定こども園で実践する教育、保育の「健康」の位置づけについて説明できる 子どもの発達に即した支援、援助、環境設定を説明できる 指導方法や教材づくり、評価法や小学校教育とのつながりを述べることができる
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許
関連科目	健康／健康・健康スポーツ／健康指導法B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	大西　真果
実務経験	○
実務内容	スポーツ施設における指導、保育園て子育て支援指導、健康教室でのシニア世代へのリズム体操を指導。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について
2	保育内容「健康」で学ぶこと	各法令や要領、指針における「健康」の扱いについて
3	からだの発達	からだの発育と発達について
4	からだの発達	運動発達について
5	からだの発達	運動発達を促進する運動指導について
6	こころの発達	発達段階について
7	子どもにとって遊びとは	子どもの遊びの重要性について
8	様々な遊び	様々な遊びの実践や注意点について

9	様々な遊び	自然環境に応じた遊びについて
10	基本的生活習慣の形成	基本的生活習慣について
11	基本的生活習慣の形成	基本的生活習慣について
12	基本的生活習慣の形成	基本的生活習慣と保育者のかかわりについて
13	基本的生活習慣の形成	基本的生活習慣と保育者のかかわりについて
14	修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	健康指導法B		
必修選択	選択	（学則表記）	健康指導法B		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	新版 保育者をめざす保育内容「健康」 学習の手引き		出版社	圭文社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	幼稚園、保育園、認定こども園で実践する教育、保育の「健康」の位置づけを理解し、子どもの発達に応じた支援、援助、環境設定や安全教育、それらに付随する専門知識や学校教育の流れを学ぶ。
到達目標	幼稚園、保育園、認定こども園で実践する教育、保育の「健康」の位置づけについて説明できる 子どもの発達に即した支援、援助、環境設定を説明できる 指導方法や教材づくり、評価法や小学校教育とのつながりを述べることができる
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許
関連科目	健康／健康・健康スポーツ／健康指導法B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	大西　真果
実務経験	○
実務内容	スポーツ施設における指導、保育園て子育て支援指導、健康教室でのシニア世代へのリズム体操を指導。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について
2	子どもを取り巻く現状	現代社会と子どもについて
3	子どもを取り巻く現状	子どもとメディアについて
4	食育と健康	食育の基本について
5	子どもの安全管理と安全教育	現場での安全管理や子どもと実践する安全教育について
6	子どもの安全管理と安全教育	現場での安全管理や子どもと実践する安全教育について
7	子どものケガや病気	乳児や幼児に気をつけたいケガや病気について
8	子どものケガや病気	乳児や幼児に気をつけたいケガや病気について

9	修得確認	テストの実施
10	修得確認	テストの実施
11	総まとめ	第1～5講のまとめ
12	総まとめ	第6～10講のまとめ
13	総まとめ	第11～15講のまとめ
14	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	表現指導法A		
必修選択	選択	（学則表記）	表現指導法A		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	表現指導法　ー感性を育て、表現の正解を拓くー 学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	幼稚園、保育所および幼保認定連携型認定こども園における乳幼児の「表現」の指導法について考究していく。子どもの表現活動を支える援助者として表現力を向上させるとともに、子ども達に表現することの素晴らしさを伝える指導力を培う
到達目標	①幼稚園および保育所等における「表現」の内容について基礎的な知識を得る。 ②保育者として自ら表現する楽しさを感じ、子どもの発達に応じた表現の指導力が身につく。 ③可能な環境設定の中で模擬授業を構築することができる。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	
関連科目	子どもの造形表現Ａ、子どもの造形表現Ｂ・製作あそび
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	子どもにとっての表現とは	子どもの「表現」に関する基礎的な事項について学ぶ（第1章）
2	領域「表現」とは	領域「表現」のねらい及び内容について学ぶ（第2章）
3	リズムを楽しむ子どもの身体表現	子どもの身体表現とリズムとの密接な関わり合いを学ぶ（第3章）
4	スポーツの名場面を表現に	スポーツの特性を知り身体表現との相違点や類似点を学ぶ（第4章）
5	音楽表現活動の指導①	音を聴き、声を使った表現遊びの実践方法や保育者の関わり方を学ぶ（第5章）
6	音楽表現活動の指導②	楽器や様々な素材の音を使った表現遊びの実践方法や保育者の関わり方を学ぶ（第6章）
7	幼児の造形表現の特質	子どもの造形について発達の観点から知り、造形の遊びへと展開できる技術を身につける（第7章）
8	造形の材料と技法	造形表現の材料や技法について学ぶ（第8章）

9	言葉による表現Ⅰ	子どもにとっての言語表現とは何かについて理解する（第9章）
10	言葉による表現Ⅱ	言葉を媒介とした表現遊びについて理解する（第10章）
11	自然と生活１	春の保育活動の特色について理解する（第11章）
12	夏のイメージから表現へ	夏のイメージから多様な表現が生まれることを学ぶ（第12章）
13	総合的音楽表現活動の指導	行事を通して子どもの自主性や表現力、協働する力を育むための保育者の関わり方や計画の実践方法を学ぶ（第13章）
14	修得確認	修得確認
15	総まとめ	総まとめ、振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	表現指導法B		
必修選択	選択	（学則表記）	表現指導法B		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	表現指導法　ー感性を育て、表現の正解を拓くー 学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	幼稚園、保育所および幼保認定連携型認定こども園における乳幼児の「表現」の指導法について考究していく。子どもの表現活動を支える援助者として表現力を向上させるとともに、子ども達に表現することの素晴らしさを伝える指導力を培う
到達目標	①幼稚園および保育所等における「表現」の内容について基礎的な知識を得る。 ②保育者として自ら表現する楽しさを感じ、子どもの発達に応じた表現の指導力が身につく。 ③可能な環境設定の中で模擬授業を構築することができる。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	
関連科目	子どもの造形表現Ａ、子どもの造形表現Ｂ・製作あそび
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	総合活動計画の立案	季節を題材にした部分指導案を立案する（第14章）
2	総合活動計画の立案②	季節を題材にし立案した指導案を発表する（第14章）
3	領域「表現」の目指すもの	現代社会の中で子どもの豊かな表現を育むための課題について考える（第15章）
4	領域「表現」の目指すもの②	現代社会の中で子どもの豊かな表現を育むための課題について発表し合う（第15章）
5	子どもにとっての表現とは 領域「表現」とは	第１章、第２章の復習を行い、領域「表現」を理解する
6	リズムを楽しむ子どもの身体表現 スポーツの名場面を表現に	第３章、第４章の復習を行い、身体表現・スポーツの中の表現を理解する
7	音楽表現活動の指導	第５章、第６章の復習を行い、音楽表現活動を理解する
8	幼児の造形表現の特質 造形の材料と技法	第７章、第８章の復習を行い、造形表現とその技法を理解する

9	言葉による表現Ⅰ	第９章の復習を行い、子どもにとっての言語表現を理解する
10	言葉による表現 Ⅱ	第１０章の復習を行い、言葉を媒介とした表情遊びを展開する
11	自然と生活１	第１１章の復習を行い、春の表現活動について理解を深める
12	夏のイメージから表現へ	第１２章の復習を行い、夏の表現活動について理解を深める
13	領域「表現」の目指すもの	子どもの豊かな表現を育むための課題について理解を深める
14	修得確認	修得確認を行う
15	総まとめ	授業の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	人間関係指導法A		
必修選択	選択	（学則表記）	人間関係指導法A		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	①実践につながる新しい保育内容「人間関係」 ②学習の手引き		出版社	①ミネルヴァ書房	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	領域「人間関係」のねらい及び内容について専門領域と関連させて理解を深め、具体的保育を構成する力を養う。 「幼児の人と関わる力の育ち」を理論的・実践的に理解し、保育者の「育てる側の人間」としての資質の向上を目指す。
到達目標	①幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ②幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭
関連科目	人間関係
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	上田　真弘
実務経験	○
実務内容	現在保育所にて園長として勤務。地域子育て支援や幼児教育アドバイザーを担当。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	領域「人間関係」①	幼稚園教育要領の構造理解と、領域「人間関係」のねらい及び内容・保育実践の在り方や評価の理解に努める
2	領域「人間関係」②	幼稚園教育要領の領域「人間関係」が目指す育ちと保育者の視点と役割を理解し事例研究を行う
3	子どもの生活の中で育まれる人間関係①	幼児の生活体験に関する保育構想及び展開と保育者の役割を理解する
4	子どもの生活の中で育まれる人間関係②	生活環境の工夫に関する教材研究を行う
5	子どもの遊びの中で育まれる人間関係①	幼児の遊び体験に関する保育構想及び展開と保育者の役割を理解する
6	子どもの遊びの中で育まれる人間関係②	園における遊び環境の工夫に関する教材研究を行う
7	保育の展開と指導計画①	保育の構想と指導計画、模擬保育について理解する
8	保育の展開と指導計画②	保育の構想と指導計画、模擬保育について理解する

9	保育の展開と指導計画③	模擬保育の実施のための指導計画を行う
10	指導計画と実践①	人間関係を育む保育の立案、立案型学習による指導案演習を行う
11	指導計画と実践②	人間関係を育む保育の立案、立案型学習による指導案演習を行う
12	指導計画と実践③	指導案に基づいた模擬保育を実施する
13	指導計画と実践④	指導案に基づいた模擬保育と振り返りを実施する
14	修得確認	前期の修得確認を行う
15	総まとめ	総まとめ、振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	人間関係指導法B		
必修選択	選択	（学則表記）	人間関係指導法B		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	①実践につながる新しい保育内容「人間関係」 ②学習の手引き		出版社	①ミネルヴァ書房	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	領域「人間関係」のねらい及び内容について専門領域と関連させて理解を深め、具体的保育を構成する力を養う。 「幼児の人と関わる力の育ち」を理論的・実践的に理解し、保育者の「育てる側の人間」としての資質の向上を目指す。		
到達目標	①幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ②幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭		
関連科目	人間関係		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	上田　真弘	実務経験	○
実務内容	現在保育所にて園長として勤務。地域子育て支援や幼児教育アドバイザーを担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	多様な配慮と保育の構想①	個別の配慮が必要な幼児への援助に関する事例研究を実施する
2	多様な配慮と保育の構想②	個と集団の育ちへの理解と援助方法を学ぶ
3	小学校生活への接続①	幼児期の終わりまでに育ってほしい「人間関係」を学ぶ
4	小学校生活への接続②	小学校生活と領域「人間関係」、事例研究を実施する
5	地域連携と保育の構想	幼稚園教育における現代的課題の整理、文化の伝承と保護者や地域との連携に関する指導案分析演習を行う
6	領域「人間関係」	第１章を復習し、領域「人間関係」を理解する
7	子どもの生活の中で育まれる 人間関係	第２章を復習し、子どもの生活の中で育まれる人間関係を理解する
8	子どもの遊びの中で育まれる 人間関係	第３章を復習し、子どもの遊びの中で育まれる人間関係を理解する

9	保育の展開と指導計画	第４章を復習し、保育の展開と指導計画を理解する
10	指導計画と実践	第５章を復習し、指導計画と実践を行う
11	多様な配慮と保育構想	第６章を復習し、多様な配慮と保育構想を理解する
12	小学校生活への接続	第７章を復習し、小学校生活への接続を学ぶ
13	地域連携と保育の構想	第８章を復習し、地域連携と保育の構想を学ぶ
14	修得確認	修得確認の修得確認を行う
15	総まとめ	これまでの総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子ども家庭支援論A		
必修選択	選択	（学則表記）	子ども家庭支援論A		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	児童の福祉を支える子ども家庭支援論 学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	家庭の機能の変化や現状、社会的背景、関連分野の実践、法体系、子育て支援サービスについて学習し、実際に家庭支援に取り組む際に役立つ、多角的且つ具体的な方法と考え方について習得する
到達目標	①子育て家庭に対する支援の意義・目的を述べることができる。 ②保育の専門性を生かした子ども家庭支援の意義と基本について述べることができる。 ③子育て家庭に対する支援の体制について述べることができる。 ④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状について述べることができる。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士・幼稚園教諭
関連科目	子ども家庭福祉A/B,社会的養護A/B,社会福祉A/B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	中富　里枝
実務経験	○
実務内容	幼稚園に約7年間幼稚園教諭として勤務。小児科に約3ヶ月勤務。 保育園に4年間保育士として勤務し、子育て支援も担当していた。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	子ども家庭支援の意義と必要性	第1章（1）子どもが育つ場としての家庭の在り方とそれを支援する意義について
2	子ども家庭支援の意義と必要性	第1章（1）子どもが育つ場としての家庭の在り方とそれを支援する意義について
3	子ども家庭支援の目的と機能	第1章（2）家庭支援の目的と機能について
4	子ども家庭支援の目的と機能	第1章（2）家庭支援の目的と機能について
5	子どもの発達と家族	第2章子どもの発達に応じた家族や家庭の在り方について
6	子どもの発達と家族	第2章子どもの発達に応じた家族や家庭の在り方について
7	保育の専門性と子ども家庭支援	第3章（1）保育士として家庭を支援する強みについて
8	保育の専門性と子ども家庭支援	第3章（1）保育士として家庭を支援する強みについて
9	子どもの育ちの喜びの共有	第3章（2）保護者相談や保護者との関係づくりにおいて重要な態度について

10	子どもの育ちの喜びの共有	第3章（2）保護者相談や保護者との関係づくりにおいて重要な態度について
11	保護者や地域の子育て力の向上	第3章（3）保護者の子育てする力や地域が子育て支援をする力を育むための考え方について
12	保育士に求められる基本的態度	第3章（4）バイステックの原則、保護者の相談に応ずるときの基本的態度について
13	家庭の状況に応じた支援	第3章（5）家庭機能を念頭に置いた支援と、アセスメントから始める相談支援の考え方について
14	修得確認	テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子ども家庭支援論B		
必修選択	選択	（学則表記）	子ども家庭支援論B		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	児童の福祉を支える子ども家庭支援論 学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	家庭の機能の変化や現状、社会的背景、関連分野の実践、法体系、子育て支援サービスについて学習し、実際に家庭支援に取り組む際に役立つ、多角的且つ具体的な方法と考え方について習得する
到達目標	①子育て家庭に対する支援の意義・目的を述べることができる。 ②保育の専門性を生かした子ども家庭支援の意義と基本について述べることができる。 ③子育て家庭に対する支援の体制について述べることができる。 ④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状について述べることができる。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士・幼稚園教諭
関連科目	子ども家庭福祉A/B,社会的養護A/B,社会福祉A/B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	中富　里枝
実務経験	○
実務内容	幼稚園に約7年間幼稚園教諭として勤務。小児科に約3ヶ月勤務。 保育園に4年間保育士として勤務し、子育て支援も担当していた。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	地域の資源の活用と連携・協力	第3章（6）多様な地域資源や自治体・関係機関について
2	子育て家庭のための社会資源	第4章（1）家庭が子育てに行き詰ったときに利用できる社会資源について
3	子育て支援施策	第4章（2）行政の行なっている子育て支援の根幹となる法律や施策について
4	次世代育成施策の推進	第4章（3）（4）次世代育成に関わる施策と男女共同参画の動向について
5	多様な支援の展開と関係機関との連携	第5章（1）現在展開されている多様な子育て支援と連携の重要性について
6	保育所を利用する子どもの家庭、地域の子育て家庭への支援	第5章（2）（3）保育所の利用者や保育所を利用していない保護者の子育て支援について
7	要保護児童等及びその家族に対する支援	第5章（4）貧困家庭や虐待が疑われる家庭、障害児を育てる家庭や外国につながる家庭への支援について
8	子ども家庭支援の意義と必要性 子ども家庭支援の目的と機能	第1章の復習・子ども家庭支援の意義や機能について

9	子どもの発達と家族	第2章の復習・子どもの発達に応じた家族や家庭の在り方について
10	子どもの育ちの喜びの共有	第3章の復習・保護者相談や保護者との関係づくりにおいて重要な態度について
11	子育て家庭のための社会資源 子育て支援施策 次世代育成施策の推進	第4章の復習・子育て支援に関する法律や施策について
12	多様な支援の展開と関係機関との連携	第5章（1）の復習・現在展開されている多様な子育て支援と連携の重要性について
13	保育所を利用する子どもの家庭、地域の子育て家庭への支援	第5章（2）（3）の復習・保育所の利用者や保育所を利用していない保護者の子育て支援について
14	修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	言葉		
必修選択	選択	（学則表記）	言葉		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	保育学生のための「幼児と言葉」「言葉指導法」 学習の手引き		出版社	ミネルヴァ書房	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	言葉の意義や機能について事例を通して学ぶとともに、言葉を豊かにする実践や児童文化財の意義と 活用方法について体験的に理解し、保育への取り入れ方を考える
到達目標	①人間にとっての言葉の意義や機能について理解し保育に取り入れることが出来る。 ②言葉に対する感覚を豊かにすることが出来、実践することが出来る。 ③幼児の発達における児童文化財の意義を理解し保育に取り入れることが出来る。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	環境・人間関係
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人間と言葉	人間にとっての言葉の意義と機能について
2	子どもの言葉の発達過程	子どもの言葉の発達過程と気づきについて
3	子どもの言葉の発達過程	子どもの言葉の発達過程と気づきについて
4	言葉の楽しさや美しさ	言葉の楽しさや美しさについて
5	子どもの発達と言葉遊び	子どもの発達と言葉遊びの関係性について
6	子どもの発達と言葉遊び	子どもの発達と言葉遊びの関係性について
7	言葉遊びの実際	言葉遊びの活用方法について
8	言葉遊びの実際	言葉遊びの活用方法について

9	児童文化財とは	児童文化財の種類と保育における意義について
10	児童文化財の活用	児童文化財について
11	児童文化財の活用	児童文化財について
12	子どもの発達と児童文化財	言葉を育てる模擬保育について
13	修得確認	期末テストの実施
14	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	特別支援教育・保育概論A		
必修選択	選択	（学則表記）	特別支援教育・保育概論A		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	『特別支援教育・保育概論ー特別な配慮を要する子どもの理解と支援ー』、学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	特別支援教育の教育・保育の理論や制度の理解をもとに、教育・保育の展開に必要なアセスメント方法や支援計画の立案方法、教育・保育現場での実践的な支援方法を学ぶ。 内容は、特別支援教育・保育の歴史、インクルーシブ教育・保育の理念と意義、家庭や関連機関との連携をとりあげる。特に、個々の特性や心身の発達に応じた援助や配慮につなげられるよう、障害や発達特性、日常生活での配慮や環境設定の仕方、個別支援計画の立案、複合的なニーズへの対応等を学ぶ。
到達目標	① 特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。 ② 特別の支援を必要とする子どもに対する教育課程、支援の方法を理解する。 ③ 多言語環境や貧困等、障害はないが特別の教育的ニーズのある子どもの生活上の困難さ、対応の仕方を理解する。また、それらの子どもの特性及び心身の発達を理解する。
評価基準	学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％・修得確認：50％・授業態度：30％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	障害児保育、特別支援教育・保育概論B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	松尾　明奈
実務経験	○
実務内容	福祉施設にて社会福祉士として勤務歴あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	特別支援教育・保育の歴史的変遷 「障害」の概念	特別支援教育・保育を支える理念や制度、歴史的変遷、「障害」の定義について 幼稚園、保育所におけるインクルーシブ教育・保育について（教科書第1章）
2	特別な支援が必要な子ども	肢体不自由・知的障害・視覚・聴覚・言語障害のある子どもの発達特性について （教科書第2章）
3	特別な支援が必要な子ども	重症心身障害児・医療的ケア児の特性を理解し具体的な支援・援助について学ぶ。 （教科書第2章）
4	特別な支援が必要な子ども	注意欠如・多動性障害、限局性学習障害・自閉症スペクトラム障害などの発達障害について （教科書第2章）
5	特別な支援が必要な子ども	虐待を受けている子ども、貧困や外国籍など特別な配慮が必要な子どもたちについて （教科書第2章）
6	幼稚園・保育所における個別支援・個別指導計画の作成と記録及び評価	特別な支援が必要な子どものニーズのアセスメント方法やそれに合わせた個別支援・援助計画、指導計画の意義、遊びや日常生活動作を促進する活動について
7		特別支援教育・保育での保育者との協働のあり方と、職員間の連携について （教科書第3章）

8 9	特別な支援を必要とする幼児児童及び生徒に対する教育課程や支援方法	教育課程での通級による指導や自立活動の位置づけについて 個別教育計画の立案について 特別支援コーディネーターの役割について （教科書第4章）
10 11 12	家庭及び関係機関との連携特別な支援が必要な子どもの教育・保育にかかわる現状と課題	特別な支援が必要な子どもとその家族の課題、および早期療育の意義と内容について （教科書第5・6章）
13	修得確認	修得確認
14 15	まとめ	前期のまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	特別支援教育・保育概論B		
必修選択	選択	（学則表記）	特別支援教育・保育概論B		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	『特別支援教育・保育概論ー特別な配慮を要する子どもの理解と支援ー』、学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	特別支援教育の教育・保育の理論や制度の理解をもとに、教育・保育の展開に必要なアセスメント方法や支援計画の立案方法、教育・保育現場での実践的な支援方法を学ぶ。 内容は、特別支援教育・保育の歴史、インクルーシブ教育・保育の理念と意義、家庭や関連機関との連携をとりあげる。特に、個々の特性や心身の発達に応じた援助や配慮につなげられるよう、障害や発達特性、日常生活での配慮や環境設定の仕方、個別支援計画の立案、複合的なニーズへの対応等を学ぶ。
到達目標	① 特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。 ② 特別の支援を必要とする子どもに対する教育課程、支援の方法を理解する。 ③ 多言語環境や貧困等、障害はないが特別の教育的ニーズのある子どもの生活上の困難さ、対応の仕方を理解する。また、それらの子どもの特性及び心身の発達を理解する。
評価基準	学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％・修得確認：50％・授業態度：30％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	障害児保育、特別支援教育・保育概論A
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	松尾　明奈	実務経験	○
実務内容	福祉施設にて社会福祉士として勤務歴あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振り返り	修得確認の結果、前期の振り返りについて
2	まとめ・修得確認	第1講のまとめについて
3	まとめ・修得確認	第2講のまとめについて
4	まとめ・修得確認	第3講のまとめについて
5	まとめ・修得確認	第4講のまとめについて
6	まとめ・修得確認	第5講のまとめについて
7	まとめ・修得確認	第6講のまとめについて

8	まとめ・修得確認	第7講のまとめについて
9	まとめ・修得確認	第8講のまとめについて
10	総まとめ	単元ごとのワーク
11	総まとめ	単元ごとのワーク
12	総まとめ	単元ごとのワーク
13	総まとめ	単元ごとのワーク
14	修得確認	修得確認の結果、前期の振り返りについて
15	振り返り	振り返り、まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	実習対策ⅢA		
必修選択	選択	（学則表記）	実習対策ⅢA		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	施設実習パーフェクトガイド		出版社	ナツメ社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	就職を見据えた実習を行い、保育者になるための技術を身につける。
到達目標	子どもの興味を引き、子どもの発達段階に合わせたねらいに沿った指導案を作成できる。 実習生に必要な「話す・動く・書く・作る」技術を身につけ、実践することができる。 自分に必要な課題を明確にし、改善しようとすることができる。
評価基準	提出物・指導案・実習に必要な作品：40%　授業態度：40%　テスト：20%
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	実習対策ⅠA・B、実習対策ⅡA・B、実習対策ⅢB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	黒木　知恵美	実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・授業の目的と必要な授業参加態度などについて ・3年次実習について
2	実習基礎知識の確認	・3年次実習の目標について ・実習日誌の書き方、専門用語の確認について ・指導案作成の手順と留意点について ・部分実習指導案・全日実習指導案を作成
3		
4		
5		
6	施設実習の理解	・施設の種別ごとの特徴、一日の生活の流れの理解について ・障がいの特性と関わり方、配慮店について ・実習内容、実習日誌の書き方について
7		
8		

9	実習準備	・名札など実習に必要なものの再確認 ・子どもたちの興味をひくための導入・主活動の発表と実践 ・朝の会や帰りの会の進行について ・お誕生日会など全園児の前でできる保育について ・道具がなくてもすぐにできる遊びについて ・廃材などを使った製作について
10		
11		
12		
13		
14	テスト	・期末テストの実施
15	総まとめ	・前期に学んだことの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	実習対策ⅢB		
必修選択	選択	（学則表記）	実習対策ⅢB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	施設実習パーフェクトガイド		出版社	ナツメ社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	就職を見据えた実習を行い、保育者になるための技術を身につける。
到達目標	子どもの興味を引き、子どもの発達段階に合わせたねらいに沿った指導案を作成できる。 実習生に必要な「話す・動く・書く・作る」技術を身につけ、実践することができる。 自分に必要な課題を明確にし、改善しようとすることができる。
評価基準	提出物・指導案・実習に必要な作品：40％　授業態度：40％　テスト：20％
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	実習対策ⅠA・B、実習対策ⅡA・B、実習対策ⅢA
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	実習の振り返りと保育現場の理解	・各実習の振り返り ・施設実習で理解した種別ごとの特性や一日の生活の流れについて ・各実習先で出会った特別な支援が必要な子どもの現状と学んだ関わり方について
2		
3		
4		
5		

6	卒業後に向けての準備①	・現在の保育現場を取り巻く社会問題や課題について ・季節の行事の由来を理解し、保育発展の方法について ・園の行事について実践 ・モンテッソーリ教育や、シュタイナー教育、ピラミッドメソッドなど多様な保育実践について
7		
8		
9		
10		
11	卒業後に向けての準備②	・自分自身の就職先、または受験希望先に合わせて、必要な準備について ・4月から社会人として仕事をする上で必要な常識や専門的知識について ・4月から保育現場で使用する予定のものの作成
12		
13		
14	期末テスト	・期末テストの実施
15	総まとめ	・1年間学んだことの総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子どもプログラミングＡ		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもプログラミングＡ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	ICTを使って保育を豊かに		出版社	中央法規出版株式会社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	保育士として身近なICT機器を一つの道具として活用する方法を知る		
到達目標	高度情報化社会の進展の中で、保育実践におけるICT活用実例を具体的に考察する。 子どもの経験を主体的・対話的にすることができる。		
評価基準	授業態度：60％　小テスト：40％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	相澤　浩輝	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回ガイダンス	授業の目標、到達目標
2	ICT活用の現状	子どもの育ちを豊かにする視点 保育実践におけるICTメディアとアプリ活用で生まれる効果
3	ICT活用実例　１気づく・知る	ICT機器により得られた「気づき」 ICT機器の介在がもたらした別の見方（視点）
4		子どもの思いに寄り添った保育者の援助
5	ICT活用実例　２探求する	活動や経験をつなぎ発展させる
6		関わり、気づき、「もっと」につながる
7	ICT活用実例　３表す・没入する	「表したい」「やってみたい」を形に
8	ICT活用実例　４伝える・対話する	対面とオンラインの組み合わせ
9		子ども自身が興味・関心から情報を取り込む

10	保護者と園をつなぐ	ICT機材と通信回線を利用して、できることを考える
11	園と地域の輪を広げる	連携ツールとしてのICT活用事例、必要とされる法令順守
12	業務改善	保育の場での業務改善とICT活用
13	国際的な動向	様々な調査データからみるデジタルの動向
14	テスト	前期テスト
15	総まとめ	テストの振り返り、デジタル化における保育の未来へのデザイン

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子どもプログラミングB		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもプログラミングB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	scratchで楽しむプログラミングの教科書		出版社	SBクリエイティブ株式会社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	Ｓｃｒａｔｃｈを使ってプログラミングを行うことにより、論理的思考力を習得する
到達目標	プログラミングに必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を行う
評価基準	授業の成果物、テスト
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	相澤　浩輝
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、到達目標、Scratchの基本操作
2	プログラムの作り方	順番に処理を並べる
3	繰り返し	繰り返しのスクリプト
4	条件分岐	条件によって動きを分ける
5	当たり判定	当たり判定
6	スプライトの向きと角度	演算、調べる、制御
7	音の再生	条件分岐の細分化
8	座標	座標の考え方

9	コスチュームの変え方	スプライトの見た目を変える
10	変数を使った処理	変数の使い方
11	クローン	クローンの動かし方
12	実践①	ゲームを作成、成果物作成
13	実践②	ゲームを作成、成果物作成
14	テスト	テスト
15	総まとめ	成果物発表、振り返り、総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	子どもの音楽ⅢA		
必修選択	選択	(学則表記)	子どもの音楽ⅢA		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	①子どものための音楽表現技術ー感性と実践力豊かな保育者へ　②ポケットいっぱいのうた		出版社	①萌文書林 ②教育芸術社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ピアノ弾き歌いの技能を向上させながら、保育現場での音楽活動において必要とされる音楽表現技術を習得する。		
到達目標	ピアノ弾き歌い、コード伴奏付け、読譜、初見奏などの演奏技術を実践的に行うことができる。 保育現場で必要な子どもの歌のレパートリーを身に付け、実践することができる。 習得した技術を、豊かな音楽表現活動の支援に生かすことができる。		
評価基準	修得確認40%　課題20%　小テスト20%　授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	子どもの音楽ⅠA・B、子どもの音楽ⅡA・B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	川原　智子	実務経験	○
実務内容	中村学園大学及び中村学園大学短期大学部にて25年勤務、音楽指導に携わる 学校法人英数学館 英数高等学院にて８年間音楽指導に携わる		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	園生活の歌 コード奏	・今まで学んだ園生活の歌の復習、ハ・ヘ・ト長調主要三和音のコード奏について
2	園生活の歌 コード奏	
3	季節の歌(春)・コード奏 ピアノの技能	・春の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、ハ・ヘ・ト・ニ・変ロ長調主要三和音のコード奏、スタッカートとテヌートについて ・1～4回目小テスト
4	行事の歌(春)・コード奏 ピアノの技能	
5	季節の歌(梅雨)・コード奏 ピアノの技能	・梅雨の時期の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、様々な分散和音によるコード奏、三連符の読譜と奏法、ペダルの用法について ・5～8回目小テスト
6	季節の歌(梅雨)・コード奏 ピアノの技能	
7	行事の歌(梅雨)・ピアノの技能	
8	行事の歌(梅雨)・ピアノの技能	

9	季節の歌(夏)・読譜の技能	・夏の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、複合拍子の曲の読譜と演奏について
10	季節の歌(夏)・読譜の技能	
11	行事の歌(夏)・コードの知識 ピアノの技能	・夏の行事の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、マイナーコードと副三和音について ・9〜12回目小テスト
12	行事の歌(夏)・コードの知識 ピアノの技能	
13	定番の歌・コード奏 ピアノの技能	・定番の楽しい歌の読譜、歌唱、弾き歌い、副三和音のコードと用法について
14	修得確認	・課題曲ピアノ弾き歌いによる演奏発表
15	総まとめ	・テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	子どもの音楽ⅢB		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもの音楽ⅢB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	①子どものための音楽表現技術ー感性と実践力豊かな保育者へ　②ポケットいっぱいのうた		出版社	①萌文書林 ②教育芸術社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ピアノ弾き歌いの技能を向上させながら、保育現場での音楽活動において必要とされる音楽表現技術を習得する。		
到達目標	ピアノ弾き歌い、コード伴奏付け、読譜、初見奏などの演奏技術を実践的に行うことができる。 保育現場で必要な子どもの歌のレパートリーを身に付け、実践することができる。 習得した技術を、豊かな音楽表現活動の支援に生かすことができる。		
評価基準	修得確認40％　課題20％　小テスト20％　授業態度20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	子どもの音楽Ⅰ、子どもの音楽Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	川原　智子	実務経験	○
実務内容	中村学園大学及び中村学園大学短期大学部にて25年勤務、音楽指導に携わる 学校法人英数学館 英数高等学院にて８年間音楽指導に携わる		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	季節の歌(秋)・コードの知識 ピアノの技能	・秋の行事の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、、ドミナントネーション、借用和音を含むコード奏、装飾音の技法について
2	行事の歌(秋)・コード奏 ピアノの技能	
3	文部省唱歌・コード奏 ピアノの技能	・文部省唱歌のレパートリー、弾き歌い、オーギュメント、ディミニッシュの和音、色々なリズムの読み取りと演奏について ・16～19回目小テスト
4	文部省唱歌・コードの知識 ピアノの技能	
5	三段譜の歌・コード奏 ピアノの技能	・三段譜の歌の弾き歌い、経過和音を含むコード奏について
6	三段譜面の歌・コード奏 ピアノの技能	
7	季節の歌(クリスマス)・和声進行と伴奏付け・ピアノの技能	・クリスマスの歌の読譜、歌唱、、弾き歌い、和声進行の知識とコード伴奏の作成法について ・20～23回目小テスト
8	季節の歌(クリスマス)・和声進行と伴奏付け・ピアノの技能	

9	季節の歌(冬) 劇遊びにおけるピアノ奏	・冬の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、音楽会、劇遊び等における伴奏、BGM演奏について
10	行事の歌(冬) 劇遊びにおけるピアノ奏	
11	楽しい歌・アニメの歌 子どもの合奏と伴奏	・楽しい歌・アニメの歌の弾き歌い、子どもの楽器遊び、合奏のピアノ伴奏について
12	楽しい歌・アニメの歌 子どもの合奏と伴奏	
13	行事の歌(卒園式)	・卒園の歌の読譜、弾き歌いについて ・24～28回目小テスト
14	修得試験	・課題曲によるピアノ弾き歌い演奏発表
15	総まとめ、振り返り	・テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	製作あそびA		
必修選択	選択	（学則表記）	製作あそびA		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	子どもの各年齢の発達をとらえ、年齢に合わせた遊びの種類を学ぶと共に教材研究や環境設定、遊びの工夫を考えながら実践技術の上達を目指していく
到達目標	製作する事だけに満足せず、常に子どもたちが予想される姿を考えながら創意工夫をし、 子どもを惹きつけることが出来る 実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる
評価基準	作品提出、発表：70％　授業態度：30％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	子どもの造形表現A・B/表現指導法A・B
備考	原則、対面授業形式にて実施する
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パネルシアターとは	パネルシアターの作り方、見せ方について
2	個人ボード作成	発泡スチロール等で個人ボードを作成について
3	短編（1）　下絵①	簡単なお話の作成に必要な下絵を作成について
4	短編（1）　下絵②	
5	短編（1）　色塗り①	下絵の色塗りを実践
6	短編（1）　色塗り②	
7	短編（1）　色塗り③	パネル人形を切り取り、接着剤で貼り付けを実践
8	短編（1）　指導案作成	完成したパネルの指導案の作成について

9	短編（1）　練習	パネル発表の練習を実践
10	短編（1）　発表	パネルの発表を実践
11	マジックスクリーン	製作の説明、材料研究・構成について
12		
13	マジックスクリーン	製作・実践方法について
14	牛乳パック①カスタネット	製作の説明、材料研究・構成を考え制作を実践
15	牛乳パック①カスタネット	製作・完成後グループで歌に合わせ発表

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	製作あそびB		
必修選択	選択	（学則表記）	製作あそびB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	子どもの各年齢の発達をとらえ、年齢に合わせた遊びの種類を学ぶと共に教材研究や環境設定、遊びの工夫を考えながら実践技術の上達を目指していく
到達目標	製作する事だけに満足せず、常に子どもたちが予想される姿を考えながら創意工夫をし、 子どもを惹きつけることが出来る 実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる
評価基準	作品提出、発表：70％　授業態度：30％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	子どもの造形表現A・B/表現指導法A・B
備考	原則、対面授業形式にて実施する
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ペットボトルアート	製作の説明、材料研究・構成を考え制作を実践
2	ペットボトルアート	製作・完成品を発表
3	ステンドグラス製作	製作の説明、材料研究・構成を考え制作を実践
4	ステンドグラス製作	製作・完成品を発表
5	季節の立体製作	その時期の季節に合わせた立体製作の構成を考え制作を実践
6	季節の立体製作	製作・完成品を発表
7	マジックシアター①	子ども向きのマジックの種類を知り、グループに分かれて実践
8	マジックシアター②	子ども向きのマジックの種類を知り、グループに分かれて実践

9	六角返し	製作の説明を受け、材料研究・構成を考え制作を実践
10	六角返し	製作・完成品を発表
11	お店屋さんごっこ製作	園行事≪お店やさんごっこ≫について
12	お店屋さんごっこ製作	製作
13	お店屋さんごっこ製作	製作
14	お店屋さんごっこ準備・買い物	完成・お店の準備・売り買いを実践
15	総まとめ	振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子どもの医療A		
必修選択	選択	(学則表記)	子どもの医療A		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	子ども外来ケア		出版社	へるす出版	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	・子どもによく見られる症状を理解し、小児科受診の目安を知る。		
到達目標	・保育現場での子どもの体調管理とその対応を述べることができる。		
評価基準	修得確認50%　授業態度30%　ワークシート20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	子どもの保健、子どもの体のしくみ、小児医療		
備考	原則、この授業は対面形式にて実施する		
担当教員	原野優律子	実務経験	○
実務内容	京都や福岡県内の病院での看護師経験(外科、耳鼻科、眼科、脳神経外科、脳神経内科、手術室など)約20年。乳幼児から高齢者の患者様の看護及び家族ケアを経験。現在は福岡市内の訪問看護師と訪問介護美容サービス事業を兼務している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	はじめに	授業の流れと到達目標、評価基準について 子どもによく見られる症状の種類について
2	発熱、咳	発熱、咳について
3	鼻汁	鼻汁について
4	頭痛	頭痛について
5	腹痛	腹痛について
6	嘔吐	嘔吐について
7	下痢	下痢について
8	便秘	便秘について

9	皮疹①アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎について
10	皮疹②疾患に伴う皮疹	疾患に伴う皮疹の特徴やその違いについて
11	夜尿	夜尿について
12	肥満	肥満について
13	血尿、血便	血尿、血便について
14	修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子どもの医療B		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもの医療B		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	子ども外来ケア		出版社	へるす出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	・予防接種について理解する。
到達目標	・予防接種の効果と接種時期を述べることができる。
評価基準	修得確認50％　授業態度30％　ワークシート20％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	
関連科目	子どもの保健、子どもの体のしくみ、小児医療
備考	原則、この授業は対面形式にて実施する
担当教員	原野優律子　　実務経験　○
実務内容	京都や福岡県内の病院での看護師経験(外科、耳鼻科、眼科、脳神経外科、脳神経内科、手術室など)約20年。乳幼児から高齢者の患者様の看護及び家族ケアを経験。現在は福岡市内の訪問看護師と訪問介護美容サービス事業を兼務している。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	予防接種の必要性と種類について 4種混合ワクチン（DPT-IPV）	免疫のしくみと予防接種の必要性や種類について 4種混合ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
2	肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
3	ヒブ（Hib;インフルエンザ菌b型）ワクチン	ヒブワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
4	BCGワクチン	BCGワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
5	日本脳炎ワクチン	日本脳炎ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
6	B型肝炎ワクチン	B型肝炎ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
7	ロタウイルスワクチン	ロタウイルスワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
8	MR（麻しん風しん混合）ワクチン	MRワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて

9	水痘ワクチン、おたふくかぜワクチン	水痘ワクチン、おたふくかぜワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
10	インフルエンザワクチン(小児)	インフルエンザワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
11	A型肝炎ワクチン、狂犬病ワクチン	A型肝炎ワクチン、狂犬病ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
12	髄膜炎菌ワクチン	髄膜炎菌ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
13	ヒトパピローマウイルス（HPV)ワクチン	ヒトパピローマウイルスワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
14	後期修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	チャイルドプロデュースA		
必修選択	必修	（学則表記）	チャイルドプロデュースA		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育の学びの集大成として、保育者１年目を想定した学びを深める。
到達目標	園での行事を企画し、指導案を書くことができる。 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者（社会人）1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。
評価基準	指導案、提出物：60％・授業参加の姿勢、態度：40％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	実習対策Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	教科のねらい、評価基準、求められる授業姿勢について
2	【園行事の企画】 指導案の作成	春に子ども達と楽しむことができるイベントの内容と演出を考え、指導案のポイントについて学ぶ
3	模擬保育準備①	必要な道具や材料について
4	模擬保育準備②	個人指導案の清書、提出について グループで園行事の模擬保育の準備について
5	模擬保育①	グループで園行事の模擬保育の準備について
6	模擬保育②	グループで園行事の模擬保育の準備について
7	模擬保育③	グループで園行事の模擬保育の役割分担と流れについて
8	模擬保育④	園行事の模擬保育を実践する
9	模擬保育⑤	園行事の模擬保育を振り返る

10	【園行事の企画】 指導案の作成	夏に子ども達と楽しむことができるイベントの内容と演出を考え、指導案のポイントについて学ぶ
11	模擬保育準備	必要な道具や材料について
12	模擬保育①	グループで園行事の模擬保育の準備について
13	模擬保育②	グループで園行事の模擬保育の役割分担と流れについて
14	模擬保育③	園行事の模擬保育を実践する
15	模擬保育④	園行事の模擬保育を振り返る

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	チャイルドプロデュースB		
必修選択	必修	（学則表記）	チャイルドプロデュースB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育の学びの集大成として、保育者１年目を想定した学びを深める。
到達目標	園での行事を企画し、指導案を書くことができる。 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者（社会人）1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。
評価基準	指導案、提出物：60％・授業参加の姿勢、態度：40％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	実習対策Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	教科のねらい、評価基準、求められる授業姿勢について
2	【園行事の企画】 指導案の作成	秋・冬に子ども達と楽しむことが出来る行事の内容と演出を考え、指導案のポイントについて学ぶ
3	模擬保育準備①	誕生会企画について 必要な道具や材料について
4	模擬保育準備②	個人指導案の清書、提出について グループで園行事の模擬保育の準備について
5	模擬保育①	グループで園行事の模擬保育の準備について
6	模擬保育②	グループで園行事の模擬保育の準備について
7	模擬保育③	グループで園行事の模擬保育の役割分担と流れについて
8	模擬保育④	グループで園行事の模擬保育の役割分担と流れについて
9	模擬保育⑤	園行事の模擬保育を実践する

10	模擬保育⑥	園行事の模擬保育を実践する
11	保育者１年目の準備 総まとめ	保育者（社会人）１年目の自分に必要なまとめを行う。 提示された課題について 作成に必要な材料と情報について
12		
13		
14		
15		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアゼミナールⅢA		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアゼミナールⅢA		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	改訂　保育学生のための基礎学力演習 学習の手引き		出版社	中央法規出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育者を目指すために必要な基礎的教養や保育現場で必要とされる国語力、生活技術力を身に付ける。
到達目標	実習や就職活動に必要な心構えや知識を身に付けることができる。 文書作成能力を伸ばし、正しい日本語でわかりやすく論理的な文章を書くことができる。 保育者に必要な基礎的マナーや教養を身に付け、TPO に応じて振舞うことができる。
評価基準	テスト(修得確認)：50%、授業態度：30%、提出物：20%
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許
関連科目	キャリアゼミナールⅠA/ⅠB、キャリアゼミナールⅡA/ⅡB、キャリアゼミナールⅢB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年間の流れの確認、目標設定	オリエンテーション 社会人に向けて必要な力について
2	求人票について	求人票の見方について 社会保険・手当等について
3		
4	実習に向けて 基礎学力演習	実習に向けての準備や心構えについて 基礎学力演習手引きの補足、質疑応答
5		
6	就職に向けて	就職先の種別や就職活動について 就職試験に必要な書類の準備、履歴書について
7		

8 9	実習振り返り	実習について振り返る
10 11	就職に向けて 基礎学力演習	就職に向けての準備について 基礎学力演習手引きの補足、質疑応答
12	実習について	実習のまとめ
13	前期　期末テスト	テストを実施する
14	就職に向けて	就職までの流れについて 採用試験について
15	前期総まとめ 基礎学力演習	テストの振り返りと総まとめを行う 基礎学力演習手引きの補足、質疑応答

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアゼミナールⅢB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアゼミナールⅢB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	改訂　保育学生のための基礎学力演習 学習の手引き		出版社	中央法規出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育者を目指すために必要な基礎的教養や保育現場で必要とされる国語力、生活技術力を身に付ける。
到達目標	実習や就職活動に必要な心構えや知識を身に付けることができる。 文書作成能力を伸ばし、正しい日本語でわかりやすく論理的な文章を書くことができる。 保育者に必要な基礎的マナーや教養を身に付け、TPO に応じて振舞うことができる。
評価基準	テスト(修得確認)：50%、授業態度：30%、提出物：20%
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許
関連科目	キャリアゼミナールⅠA、キャリアゼミナールⅠB、キャリアゼミナールⅡA/ⅡB、キャリアゼミナールⅢA
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 就職活動に向けて	採用試験に向けて必要書類の確認について 面接練習について 筆記試験に向け、保育の基礎的内容の確認について
2		
3		
4		
5	就職活動に向けて 社会人に向けて 基礎学力演習	採用試験に備えて準備と面接練習について実践 さまざまな子どもとの関わりについて実習での事例を発表する 社会人に向けて必要なことについて 基礎学力演習手引きの補足、質疑応答
6		
7		

8	社会人に向けて	子どもの対応の事例について 保護者対応や、連絡帳の記載の仕方、園だよりの作成の仕方について
9		
10		
11	社会人に向けて	保育の知識と技術について3年間の学びを振り返る 保育現場の課題について
12		
13	後期　期末テスト	テストを実施
14	社会人に向けて	就職研修について
15	総まとめ	テストの振り返りと3年間の学びについて

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	医療事務ⅡA		
必修選択	選択	（学則表記）	医療事務ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	①診療報酬点数早見表②早見表③医事テキスト一式④調剤テキスト一式⑤介護テキスト一式⑥窓口事務必携ハンドブック		出版社	①⑥医学通信社②③ユアサポート④⑤日本医療事務協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	・保険薬局における調剤事務員の役割を理解する　・介護保険のしくみ、介護サービスの内容を理解する　・公費等の知識を習得する		
到達目標	・調剤事務員の役割、介護保険のしくみや介護サービスの内容を述べることが出来る　・調剤検定・介護検定に合格することが出来る　公費等の知識を述べることが出来る		
評価基準	評価テスト50％　　提出物30％　　授業態度20％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者　　成績評価が2以上の者		
関連資格	・介護報酬請求事務技能検定　・調剤薬局事務検定		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	有吉　千穂	実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として18年勤務し、受付・会計業務や看護クラーク業務を担当していた。その後、総合病院で2年、調剤薬局で1年、医療事務員として勤務した。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	2年の復習	・外来レセプト作成（カルテ問題集、医療事務検定2級の過去問題）
2	介護報酬	・介護保険制度のしくみ
3	介護保険	・居宅レセプト作成
4	介護報酬	・居宅レセプト作成
5	介護報酬	・居宅レセプト作成
6	介護報酬	・居宅レセプト作成
7	介護報酬	・居宅レセプト作成
8	介護報酬	・施設レセプト作成
9	介護報酬	・施設レセプト作成
10	介護報酬	・施設レセプト作成
11	介護報酬	・施設レセプト作成
12	公費負担医療制度	・生保、原爆、特定疾患等
13	公費負担医療制度	・子ども医療証、障害者、ひとり親家庭医療証
14	労災・自賠責・後期高齢者医療制度	・労災、自賠責、後期高齢者医療制度
15	公費負担医療制度、労災、自賠責等	・小テスト（生保、原爆、特定疾患、自賠責、労災等）

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	医療事務ⅡB		
必修選択	選択	（学則表記）	医療事務ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	①診療報酬点数早見表②早見表③医事テキスト一式④調剤テキスト一式⑤介護テキスト一式⑥窓口事務必須ハンドブック		出版社	①⑥医学通信社②③ユアサポート④⑤日本医療事務協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	・保険薬局における調剤事務員の役割を理解する　・介護保険のしくみ、介護サービスの内容を理解する　・公費等の知識を習得する		
到達目標	・調剤事務員の役割、介護保険のしくみや介護サービスの内容を述べることが出来る　・調剤検定・介護検定に合格することが出来る　公費等の知識を述べることが出来る		
評価基準	評価テスト50％　　提出物30％　　授業態度20％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者　　成績評価が2以上の者		
関連資格	・介護報酬請求事務技能検定　・調剤薬局事務検定		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	有吉　千穂	実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として18年勤務し、受付・会計業務や看護クラーク業務を担当していた。その後、総合病院で2年、調剤薬局で1年、医療事務員として勤務した。		
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります			

各回の展開

回数	単元	内容
1	調剤報酬	・保険調剤のしくみ、保険調剤の実務、処方箋の見方
2	調剤報酬	・内服薬1剤の考え方、薬剤料の計算（P.191　練習問題使用）
3	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
4	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
5	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
6	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
7	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
8	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
9	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
10	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
11	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
12	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
13	調剤報酬	・3月調剤検定対策
14	調剤報酬	・3月調剤検定対策
15	調剤報酬	・3月調剤検定対策

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	医事コン・電子カルテA		
必修選択	選択	（学則表記）	医事コン・電子カルテA		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	コンピュータ入力練習用「カルテ例題集」 診療報酬点数表、医療事務テキストⅡ、早見表		出版社	ケアアンドコミュニケーション 医学通信社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	医療機関における医療事務コンピュータの役割と活用性を理解する。 医事会計システム・電子カルテシステムの操作方法を習得する。
到達目標	医療事務コンピュータの役割と必要性を説明できるようになる。 コンピュータを用いて正しく請求を算定できるようになる。 電子カルテの基礎的な入力ができるようになる。
評価基準	テスト：70％　出欠席及び授業態度：30％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	医事コンピュータ技能検定試験　3級
関連科目	医療事務Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	松川　勢津子　　実務経験　○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、ＤＰＣコースを修了している。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・医事ＣＰの授業目的 ・概要説明　・ＣＰ基本操作	・医療機関における医事ＣＰの役割と活用性 ・システムの起動・終了操作、ＵＳＢの取り扱い
2	外来患者入力①	患者登録・病名までの入力
3	外来患者入力②	診察料・医学管理までの入力
4	外来患者入力③	投薬・do・注射までの入力
5	外来患者入力④	処置・麻酔・手術までの入力
6	外来患者入力⑤	検査・病理・画像診断までの入力①
7	外来患者入力⑥	検査・病理・画像診断までの入力②
8	外来患者入力⑦	検査・病理・画像診断までの入力③

9	外来患者入力⑧	検査・病理・画像診断までの入力④
10	テスト	テスト実施（問題は各校にて作成）
11	外来患者入力⑨	前期の振り返り
12	伝票形式入力①	外来の伝票形式の入力演習①
13	伝票形式入力②	外来の伝票形式の入力演習②
14	入院患者入力①	外来と入院の相違の入力①
15	入院患者入力②	外来と入院の相違の入力②

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	医事コン・電子カルテB		
必修選択	選択	（学則表記）	医事コン・電子カルテB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	コンピュータ入力練習用「カルテ例題集」 診療報酬点数表、医療事務テキストⅡ、早見表		出版社	ケアアンドコミュニケーション 医学通信社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	医療機関における医療事務コンピュータの役割と活用性を理解する。 医事会計システム・電子カルテシステムの操作方法を習得する。
到達目標	医療事務コンピュータの役割と必要性を説明できるようになる。 コンピュータを用いて正しく請求を算定できるようになる。 電子カルテの基礎的な入力ができるようになる。
評価基準	テスト：70％　出欠席及び授業態度：30％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	医事コンピュータ技能検定試験　3級
関連科目	医療事務Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	松川　勢津子　　実務経験　○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、ＤＰＣコースを修了している。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	入院患者入力③	入院患者入力演習①　※高齢患者の入力含む
2	入院患者入力④	入院患者入力演習②　※高齢患者の入力含む
3	入院患者入力⑤	入院患者入力演習③　※高齢患者の入力含む
4	入院患者入力⑥	入院患者入力演習④　※高齢患者の入力含む
5	入院患者入力⑦	入院患者入力演習⑤　※高齢患者の入力含む
6	入院患者入力⑧	入院患者入力演習⑥　※高齢患者の入力含む
7	テスト	テスト実施（問題は各校にて作成）
8	伝票形式入力③	入院の伝票形式の入力演習

9	伝票形式入力④	入院の伝票形式の入力演習
10	外来・入院患者演習	外来カルテの難易度の高い問題①
11	日報・月報・総括・マスター入力	入院カルテの難易度の高い問題①
12	外来・入院の振り返り	外来カルテの難易度の高い問題②
13	電子カルテ①	・電子カルテの基本操作　・オーダリングシステムの役割 ・ＳＯＡＰの意味　・問診表の入力
14	電子カルテ②	カルテ入力（症状・所見・病名・投薬・注射・処置・検査・画像診断等）
15	電子カルテの振り返り	入院カルテの難易度の高い問題②

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	病児のあそびA		
必修選択	選択	（学則表記）	病児のあそびA		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	病気や怪我で活動が制限される子どもたちに楽しい時間を提供する方法を考える
到達目標	病気や怪我の子どもたちは状況が多種多様であることを理解できる 病気や怪我で活動が制限されるからこそ楽しめる遊びを想像し述べることができる 安全に配慮したグッズを丁寧に作ることができる
評価基準	提出物（遊びリスト、デザイン画、振り返り）、製作物：60％　発表・授業態度：40％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	子どものメディカルサポートＡ・Ｂ、入院中の子どものケアＡ・Ｂ、病児保育Ａ・Ｂ、病児のあそびＢ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	松尾　明奈
実務経験	○
実務内容	福祉施設にて社会福祉士として勤務歴あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・車椅子の子どものあそび【上肢に不自由がない場合】	授業の流れ、評価基準、求められる授業姿勢について 【幼児期】車椅子に座り、上肢を使ってできる道具のいらないあそびについて
2	車椅子の子どものあそび 【上肢に不自由がない場合】 【幼児期】 【学童期】	【学童期】車椅子に座り、上肢を使ってできる道具のいらない遊びについて 幼児期との違いや配慮、遊びの展開を考えて、ひとり遊びできるものと複数で遊べるものについて
3		【幼児期】【学童期】上肢を使ってできる道具を使った遊びについて 幼児期と学童期それぞれのあそびについて実践
4		

5	ベッドの上でのあそび 【座位ができる場合】 【幼児期】 【学童期】 【乳児期】	入院中の子どもたちの状態について（慢性疾患、怪我、喘息） 【幼児期】【学童期】ベッド上、座位の状態で出来るあそびについて 【乳児期】幼児期との違いや乳児ならではの配慮について
6		
7		赤ちゃん用のおもちゃについて実践
8		
9		
10		
11	治療を助けるあそび 【幼児期】	説明絵カードについて実践
12		
13		
14	グループワーク 発表	特別な支援が子どもの遊びについて 製作物の発表について
15	総まとめ	これまでの総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	病児のあそびB		
必修選択	選択	（学則表記）	病児のあそびB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	病気や怪我で活動が制限される子どもたちに楽しい時間を提供する方法を考える
到達目標	病気や怪我の子どもたちは状況が多種多様であることを理解できる 病気や怪我で活動が制限されるからこそ楽しめる遊びを想像し述べることができる 安全に配慮したグッズを丁寧に作ることができる
評価基準	提出物（遊びリスト、デザイン画、振り返り）、製作物：60%　発表・授業態度：40%
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	子どものメディカルサポートＡ・Ｂ、入院中の子どものケアＡ・Ｂ、病児保育Ａ・Ｂ、病児のあそびＡ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	松尾　明奈	実務経験	○
実務内容	福祉施設にて社会福祉士として勤務歴あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベッド上でのあそび	授業の流れ、評価基準、求められる授業姿勢について 【乳児期】【幼児期】ベット上で寝たままできる遊びについて
2	ベッド上でのあそび 【寝た状態でできること】 【乳児期】 【幼児期】	【乳児期】【幼児期】ベット上で寝たままできる遊びについて
3		視覚で楽しむ病室の装飾について実践
4		
5		
6		

7	病児のあそび 【どこででも】 【乳児期】 【幼児期】	診察室でも病室でも使える手袋シアターについて実践
8		
9		
10		
11	病院内プレイルーム 【遊びの企画】 【幼児期】	プレイルームに来ることができる子どもたちについて
12		
13		
14	発表	プレイルームの発表について
15	総まとめ	振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	病児保育A		
必修選択	選択	（学則表記）	病児保育A		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	医療的配慮の必要な子どもの保育		出版社	中央法規	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	医療的ケアを受けていたり、慢性疾患のある子どもが、地域や保育園、幼稚園など様々な環境の中で生活できるように、保育者が必要な知識を身につけ、適切な対応や配慮が行えるようにする
到達目標	病気について深く学び、医療的ケアを受けていたり、慢性疾患ののある子どもへの対応や支援する知識を身に付ける
評価基準	修得確認：50%　小テスト：30%　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	
関連科目	子どものメディカルサポートA・B/入院中の子どものケアA・B/病児のあそびA・B/病児保育Ｂ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	原野　優律子
実務経験	○
実務内容	京都や福岡県内の病院での看護師経験(外科、耳鼻科、眼科、脳神経外科、脳神経内科、手術室など)約20年。乳幼児から高齢者の患者様の看護及び家族ケアを経験。現在は福岡市内の訪問看護師と訪問介護美容サービス事業を兼務している。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要について
2	第1部　医療的な配慮の必要な子どもを受け入れるための基礎知識	情報の把握、保護者の心理と関わりについて
3	第1部　医療的な配慮の必要な子どもを受け入れるための基礎知識	医療的ケアについて、薬の知識や投薬について
4	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	アレルギー（アトピー、食物アレルギー）について
5	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	アレルギー（花粉症、喘息）について
6	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	神経系の病気（てんかん）について
7	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	神経系の病気（脳性まひ）について
8	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	聴覚障害（難聴）について

9	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	視覚障害（盲）について
10	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	視覚障害（弱視、白内障）について
11	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	視覚障害（緑内障、斜視）について
12	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	腎臓の病気（糸球体腎炎、ネフローゼ症候群）について
13	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	ホルモンに関する病気（低身長症）について ホルモンに関する病気（思春期早発症）について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	病児保育B		
必修選択	選択	（学則表記）	病児保育B		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	医療的配慮の必要な子どもの保育		出版社	中央法規	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	医療的ケアを受けていたり、慢性疾患のある子どもが、地域や保育園、幼稚園など様々な環境の中で生活できるように、保育者が必要な知識を身につけ、適切な対応や配慮が行えるようにする
到達目標	病気について深く学び、医療的ケアを受けていたり、慢性疾患ののある子どもへの対応や支援する知識を身に付ける
評価基準	修得確認：50%　小テスト：30%　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	
関連科目	子どものメディカルサポートA・B/入院中の子どものケアA・B/病児のあそびA・B/病児保育Ｂ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	原野　優律子
実務経験	○
実務内容	京都や福岡県内の病院での看護師経験(外科、耳鼻科、眼科、脳神経外科、脳神経内科、手術室など)約20年。乳幼児から高齢者の患者様の看護及び家族ケアを経験。現在は福岡市内の訪問看護師と訪問介護美容サービス事業を兼務している。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要について 医学知識の復習
2	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	ホルモンに関する病気（ターナー症候群）について
3	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	ホルモンに関する病気（糖尿病）について
4	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	血液の病気（特発性血小板減少性紫斑病）について
5	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	血液の病気（血友病）について
6	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	血液の病気（重度の貧血）について
7	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	がん（白血病）について
8	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	がん（脳腫瘍）について

9	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	がん（神経芽腫）について
10	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	その他の病気（口唇裂、口蓋裂）について
11	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	その他の病気（水頭症、二分脊椎症）について
12	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	その他の病気（レックリングハウゼン病、アルビノ、ウィリアムズ症候群）について
13	第2部　それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	その他の病気（低出生体重児）について その他の病気（ADHD）について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	小児医療A		
必修選択	選択	（学則表記）	小児医療A		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	小児科でよくみる症状・疾患ハンドブック ※デジタル教材		出版社	照林社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	小児医療に携わる保育士として、必要な基礎知識を身につける		
到達目標	小児科医療現場での看護を学び、子どもの病気の診断と治療について理解できる 子どもの症状に対し、保育士として適切な対応ができる		
評価基準	テスト：50%　提出物：30%　授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	子どもの医療ⅠA/B、子どもの保健A/B、子どもの体のしくみA/B		
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する		
担当教員	原野優律子	実務経験	○
実務内容	京都や福岡県内の病院での看護師経験(外科、耳鼻科、眼科、脳神経外科、脳神経内科、手術室など)約20年。乳幼児から高齢者の患者様の看護及び家族ケアを経験。現在は福岡市内の訪問看護師と訪問介護美容サービス事業を兼務している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方・到達目標について
2	子どもの発育・発達と健診	発達と発育・健診・子育て支援について
3	予防接種	種類・スケジュール・接種に関する事故について
4	発熱①	外来看護のポイントについて
5	発熱②	エンテロウイルス感染症・アデノウイルス感染症・ヘルペスウイルス感染症・突発性発疹 EBウイルス感染症・インフルエンザ・溶連菌感染症について
6	発熱③	急性中耳炎・尿路感染症・川崎病について
7	咳、喘鳴、呼吸困難	かぜ症候群・鼻副鼻腔炎・クループ症候群・RSウイルス感染症・マイコプラズマ感染症 細菌性肺炎・百日咳・気道異物について
8	嘔吐、下痢	胃腸炎（細菌性、ウイルス性）・アセトン周期性嘔吐症・肥厚性幽門狭窄症について

9	腹痛	便秘・心因性腹痛・腸重積・急性虫垂炎・鼠径ヘルニア・急性膵炎について
10	皮疹	湿疹・オムツ皮膚炎・乳児寄生菌性紅斑・蕁麻疹・伝染性膿痂疹・血管性紫斑病について
11	けいれん①	てんかんについて
12	けいれん②	熱性けいれん・髄膜炎・脳炎・脳症・頭蓋内出血について
13	不定愁訴	起立性調節障害・片頭痛・成長痛について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	小児医療B		
必修選択	選択	（学則表記）	小児医療B		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	小児科でよくみる症状・疾患ハンドブック ※デジタル教材		出版社	照林社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	小児医療に携わる保育士として、必要な基礎知識を身につける		
到達目標	小児科医療現場での看護を学び、子どもの病気の診断と治療について理解できる 子どもの症状に対し、保育士として適切な対応ができる		
評価基準	テスト：50%　提出物：30%　授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	子どもの医療ⅠA/B、子どもの保健A/B、子どもの体のしくみA/B		
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する		
担当教員	原野優律子	実務経験	○
実務内容	京都や福岡県内の病院での看護師経験(外科、耳鼻科、眼科、脳神経外科、脳神経内科、手術室など)約20年。乳幼児から高齢者の患者様の看護及び家族ケアを経験。現在は福岡市内の訪問看護師と訪問介護美容サービス事業を兼務している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション うつりやすい疾患	授業の進め方・到達目標について 麻疹・風疹・おたふくかぜ・水痘・伝染性紅斑について
2	成長、発育、代謝に関する疾患	肥満症・成長ホルモン分泌不全低身長症・甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症・糖尿病・夜尿症について
3	泌尿器、性器の疾患	急性糸球体腎炎・ネフローゼ症候群・溶血性尿毒症症候群・外性器疾患について
4	血液の疾患、悪性腫瘍①	鉄欠乏性貧血・特発性血小板減少性紫斑病・血友病・ビタミンK欠乏症について
5	血液の疾患、悪性腫瘍②	白血病・脳腫瘍について
6	アレルギーの疾患①	食物アレルギーについて
7		
8	アレルギーの疾患②	アトピー性皮膚炎・アレルギー性鼻炎・花粉症について

9	発達、行動の問題	注意欠如・多動症・自閉スペクトラム障害・不登校・チック・虐待について
10	小児の心肺蘇生	心臓マッサージ・気道確保・人工呼吸・AEDについて
11	小児の経口補水療法	脱水の評価・補水の方法について
12	小児の在宅医療	医療的ケアについて
13	病児保育	病児保育とは何かについて
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	教育実習Ⅱ		
必修選択	選択	（学則表記）	教育実習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	90
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	幼稚園での体験を通して、保育のやりがいと責任を学び、保育の知識と技術を深める。
到達目標	指導案を作成し、必要な準備をした上で、子どもたちの前で実践できる。 時系列に沿って、子どもたちへの留意点を踏まえた日誌を作成できる。
評価基準	保育現場評価、実習日誌、実習準備、参加態度等を総合評価 小田原短期大学の実習評価基準に準ずる
認定条件	・10日以上、実保育時間（休憩除く）80時間以上 ・成績評価が2以上の者
関連資格	幼稚園教諭免許
関連科目	教育実習Ⅰ、保育実習Ⅰ（保育所）、保育実習Ⅰ（施設）、保育実習・Ⅱ・Ⅲ、実習対策Ⅲ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	中富　里枝
実務経験	○
実務内容	幼稚園に約7年間幼稚園教諭として勤務。小児科に約3ヶ月勤務。 保育園に4年間保育士として勤務し、子育て支援も担当していた。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	保育実習Ⅰ（施設）		
必修選択	選択	（学則表記）	保育実習Ⅰ（施設）		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	90
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	現場での体験を通して、児童福祉施設や障害者施設を理解し、生活支援の知識と技術を深める。
到達目標	・福祉施設で必要な支援の補助ができる。 ・時系列に沿って、子どもたちへの留意点を踏まえた日誌を作成できる。
評価基準	保育現場評価、実習日誌、実習準備、参加態度等を総合評価 小田原短期大学の実習評価基準に準ずる
認定条件	・90時間（休憩含む）以上または、実保育時間（休憩除く）80時間以上 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格
関連科目	教育実習Ⅰ・Ⅱ．保育実習Ⅰ（保育）・Ⅱ・Ⅲ、実習対策Ⅲ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	保育実習Ⅱ		
必修選択	選択	（学則表記）	保育実習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	90
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育現場での体験を通して、保育のやりがいと責任を学び、保育の知識と技術を深める。
到達目標	保育所にて、年齢に合ったこどもへの関わりが理解でき、実施できる。 時系列に沿って、子どもたちへの留意点を踏まえた日誌を作成できる。
評価基準	保育現場評価、実習日誌、実習準備、参加態度等を総合評価 小田原短期大学の実習評価基準に準ずる
認定条件	・90時間（休憩含む）以上または、実保育時間（休憩除く）80時間以上 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格
関連科目	保育実習Ⅰ（保育所）、保育実習Ⅰ（施設）、教育実習Ⅰ・Ⅱ、保育実習Ⅲ・実習対策Ⅲ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	保育実習Ⅲ		
必修選択	選択	（学則表記）	保育実習Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	90
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育現場での体験を通して、保育のやりがいと責任を学び、保育の知識と技術を深める。
到達目標	児童福祉施設にて、年齢や障がい・発達に合ったこどもへの関わりが理解でき、実施できる。 時系列に沿って、子どもたちへの留意点を踏まえた日誌を作成できる。
評価基準	保育現場評価、実習日誌、実習準備、参加態度等を総合評価 小田原短期大学の実習評価基準に準ずる
認定条件	・90時間（休憩含む）以上または、実保育時間（休憩除く）80時間以上 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格
関連科目	保育実習Ⅰ（保育所）、保育実習Ⅰ（施設）、教育実習Ⅰ・Ⅱ、保育実習Ⅱ・実習対策Ⅲ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。